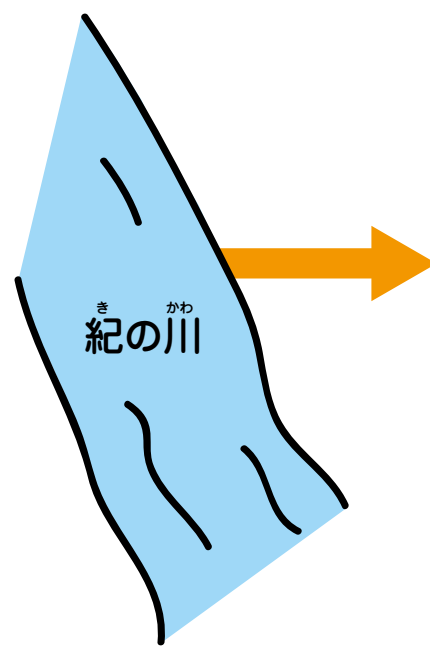


こうぎょう よう すい どう 工業用水道のしくみ

工業用水道とは、和歌山市の地場産業や鉄鋼業などの製造業を行う工場で使う水を専用につくり、おくるためのものです。

工業用水道は、飲み水として利用できないことが、水道水とのちがいです。このため、水をつくるきかいの種類も少なくなります。和歌山市の工業用水道浄水場にはろ過池と消毒用の薬（次亜塩素）を入れる設備がないのが大きな特ちょうです。



和歌山市の工業用水道は、六十谷第一浄水場、六十谷第二浄水場でつくっています。

工業用水道をつくる時に出了たドロは、きかいで水分をしぼり土がのこります。この土は、和歌山県にリサイクルせいの品のにん定を受けて、園芸用の土や、グラウンドを改良するための土として利用されています。

厚さ(2cm)×幅(2~20cm角)程度



拡大写真



浄水汚泥100%

●先生方へ● 工業用水道の用途として、新日鐵住金(株)和歌山製鉄所では溶鋳炉の冷却水に、花王(株)和歌山工場では製造プラントの冷却水、また青岸エネルギーセンター、クリーンセンターでは焼却炉の熱で工業用水を蒸気にして、発電機を動かす、電力を発生させるために用いられます。



新日鐵住金和歌山製鉄所



花王和歌山工場



青岸エネルギーセンター



青岸クリーンセンター

繊維工場・化学工場・皮革工場など



ちきゅう みず わくせい
地球は水の惑星です。

水道水が私たちの生活には大切なもので、毎日使う水がどのようにしてつくられるか、わかったかな？
そして、水道水の源になっている紀の川の水も大切であることもわかったね。紀の川の水をきれいに保つには、源流から河口までのみんなの取り組みが大切ですね。

